

利尻礼文サロベツ国立公園

礼文島 花の浮島

利尻島とは対照的な、低い台地状の島。緩やかな起伏を描いて広がる草原は高山植物の宝庫であり、希少な種も多い。西側の海岸は切り立った断崖が連続する。



利尻島 北辺の秀峰

利尻島の中央に位置する利尻山は、島内から見る姿はもちろん、礼文島やサロベツ原野から望む海面からそびえ立つ姿が美しい。その意味で、この公園の風景の中心となる山である。礼文島とともに希少な植物が多い。



サロベツ原野 地平線をつくる草原

低地における日本最大の高層湿原を有する。海岸に細長く続く砂丘林も、原始の姿をとどめている。また、パンケ沼やパンケ沼は海を越えて渡る鳥たちのかけがえのない憩いの場でもある。



公園へのアクセス

稚内までは東京、名古屋、大阪、札幌から、利尻までは札幌からの空路がある。JRは札幌から特急列車がある。稚内から利尻、礼文両島までは定期船が運行されている。

